

先端創薬科学講座セミナーコース
Forefront of Drug Discovery (FDD) Seminar 2019
< 趣意書 >

東京大学大学院薬学系研究科では、より良い医薬品の創成と適正な使用を目指す科学としての薬学の発展をめざし、この領域におけるリーダーとして先端的な研究と人材の育成に励んでいます。また本学と薬学の専門知識を活かして業界、官界、医療の現場等でご活躍されている方々との情報交換を綿密にし、連携をさらに深めることを主な目的とした、社会人を主な対象とするセミナーシリーズを開講しております。これらのセミナーは、本学における教育と研究を奨励・助成し、もって学術の振興と人類の福祉に寄与することを目的として大正14年に設立された公益法人である公益財団法人薬学振興会主催の事業として行なわれております。

「先端創薬科学講座セミナーコース」は平成17年度から年に一回、年度後半の約4ヶ月間にわたり開催して参りました。第13回目である昨年平成29年度のコースでは、学内教授陣及び学外から講師を招聘し、全10回(17セミナー(90分/1コマ)及び特別講演)にて開催させていただき、好評を博しました。第14回目を迎える平成30年度のセミナーについては、更なる発展を期して、参加者を対象として行わせていただいたアンケート調査に基づき、学内外有識者による企画委員会を開いて内容の討論を重ねて参りました。その結果、新たに企業と医薬品規制当局、臨床現場などのコミュニケーションを深める企画を複数取り入れ、「総論」、「疾患の理解と分子標的の探索」、「新技術による医薬品開発」、「臨床開発、薬事、医薬品評価科学、マーケティング」、「特別講演」の構成(全10回(17セミナー及び特別講演))にて、平成30年9月28日より平成31年3月8日までの間で開講する運びとなりました。

本セミナーは、主として、企業において研究開発、臨床開発、企画、薬事等に携わっている方々や新しい医薬品の審査に関わっておられる方々を対象に、最近の創薬研究活動の最先端を知っていただくことを目的としております。プログラムをご覧くださいますと、情報科学の創薬への応用、免疫オンコロジー、イメージング技術、ナノ技術などの最先端や、薬価や医薬品の費用対効果などを含め、最先端の講義とディスカッションが繰り広げられることがわかります。本セミナーに参加することにより、ダイナミックに展開する創薬基礎研究の世界において、今ホットな話題に関する新しい情報をいち早くキャッチして日々の活動に生かすこと、及び科学的に質の高い創薬研究を見極めるために必要な知識を確実に得ることができます。コース終了時には、コースを受講し試験に合格したことを薬学系研究科長が認定し、修了証書を授与します。年齢やお立場にかかわらず奮ってご参加下さい。

公益財団法人 薬学振興会・理事長
東京大学名誉教授
入村 達郎

東京大学・大学院薬学系研究科長
一條 秀憲